

2026 年度西洋中世学会 DH ワークショップ

手書き文字認識ツール入門

趣旨説明

実行委員長：櫻田宗紀（東京大学／学振 RPD）

近年、デジタル・ヒューマニティーズ（DH）の急速な発展により、人文学研究におけるデジタル技術の活用が世界的に広まっている。とりわけ、機械学習を応用した手書き文字認識（HTR: Handwritten Text Recognition）ツールの進歩は目覚ましく、従来は膨大な時間と労力を要していた中世写本・古文書の翻刻作業を大幅に効率化することを可能にしつつある。本ワークショップは、参加者が Transkribus（トランスクリバス：<https://www.transkribus.org/>）をはじめとする手書き文字認識ツールの基本的な操作方法を実践的に習得し、自身の研究作業にこれらのツールを導入するための第一歩を踏み出せるよう支援することを目的とする。西洋中世学会の大会という場を活用し、イスラーム学の専門家を講師として招くことで、分野横断的な知識共有と研究者コミュニティの形成を促進する一助となることも期待される。

6月7日（日）11:40～12:40／文法経1号館2階文学部会議室

プログラム

1. 趣旨説明・Transkribus アカウント作成
2. 手書き文字自動認識のワーク
3. 研究事例の紹介：石田友梨（岡山大学／イスラーム思想史）

【ご参加にあたってのお願い】

- 参加は無料ですが、事前登録をお願いします。（上限 30 名）
- インターネットに接続可能なノートパソコンをご持参ください。
- 会場では利用可能な電源コンセントの数には限りがあるため、必ず事前にバッテリーを十分に充電した状態でお越しください。
- ご自身の研究関心に合わせた手書き史資料の画像（1 枚）をご用意ください。画像のご用意が難しい場合は、サンプル画像を提供しますので、ご安心ください。